



IT HOLDINGS

Go Beyond

当社グループ組織の統合再編について

2015年10月

ITホールディングス株式会社



目次

本統合再編の背景・目的	3
本統合再編の概要	5
本統合再編により実現させる姿	9
今後の日程	13

本統合再編の背景・目的

外部環境の変化

1. 近年のIT市場をとりまく競争環境の変化

- 国内IT市場成熟化の一方、メガバンク大型案件・地銀再編でのシステム共同化、マイナンバー導入対応、カード系大型システムリプレイス等で活況
- 競合各社は、サービスラインナップを強化。売上を拡大しつつ売上高利益率を改善

2. クラウドサービスの台頭等の新たな潮流

- 「所有から利用へ」の動き
⇒ DCや共同利用型の業務AP開発等の先行投資に耐え得る事業規模・財務基盤が重要に
- 顧客のユーザー部門でのIT活用により、第3のプラットフォーム(クラウド、モバイル、ビッグデータ、IoT、Social Business)市場が成長の見通し

3. 海外IT市場の拡大

- 顧客のグローバル展開への対応に加え、現地市場でのIT投資対応の増加予想

グループ内の課題

1. 純粹持株会社体制の限界

- 自主独立・切磋琢磨を前提として各社が自社最適の経営を追求
⇒ ITHDの求心力は不十分
- 改正会社法やCGコードはグループとしてのガバナンスの強化を要請

2. 事業シナジーに制約あるグループ経営

- ITに関わる上流から下流までの事業をグループ内に包含しているにも関わらず、相互連携が途上段階のため、顧客や競合他社からは“特長”“強み”が見えにくい状態
- 「大企業から中堅企業まで」、そして「金融・産業・公共」という多様なお客様とお取引いただいても、グループ内が縦割りであるため、ベストプラクティスの共有等が不十分

本統合再編の背景・目的

- 現行グループフォーメーションではグループ内経営資源の十分な活用困難
- 市場の変化の中で、我々のサービスが魅力を失う懸念

グループフォーメーションの変革により...

「グループ全体最適」
の実現

- グループ約50社約2万人が一体となって最高のサービスを提供
- 重複投資・コストの解消

「ポートフォリオ経営」
の実現

- ITサービスをビジネスモデル毎に整理し、それぞれに最適なマネジメントを施すことで強みを創出
- 経営環境の変化に応じて投入リソースの加減を機敏に実施

目指す姿

顧客からより信頼され、
選ばれる企業

従業員が能力を
発揮しやすい企業

業界をリード
する企業

ビジネスモデル変革
(高度化)を加速

海外事業の拡大
新規分野の成長

本統合再編の概要：主なポイント

1 純粋持株会社体制から事業持株会社体制への移行

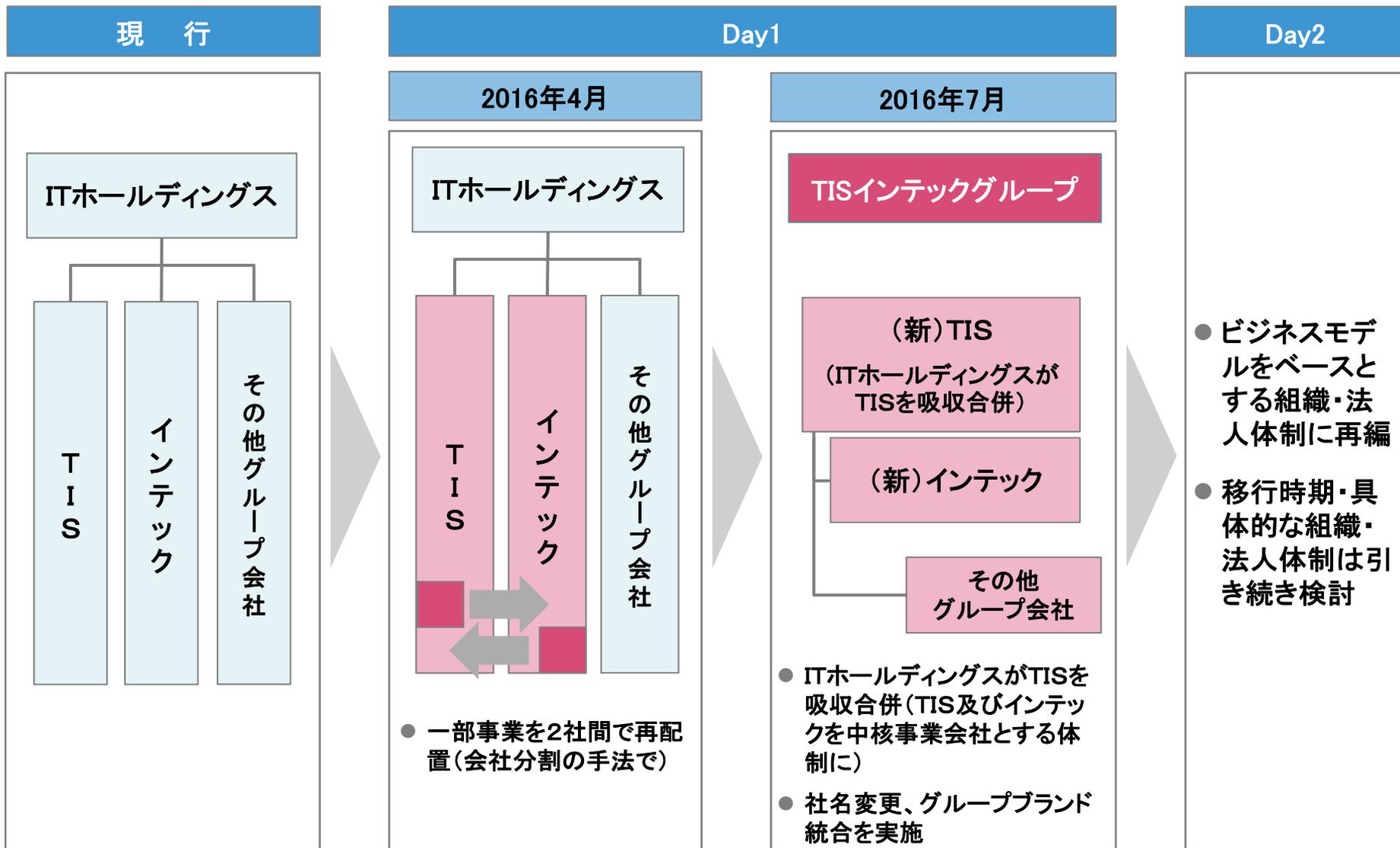
- 現行の純粋持株会社体制を見直し、ITホールディングスがTISを吸収合併する形で事業持株会社体制に移行。
- これにより、純粋持株会社体制下での分権的なガバナンス体制を見直し、中核事業会社(TIS及びインテック)の求心力をベースとした「グループ全体最適」を第一とするガバナンス体制への方向転換を図る。
⇒ 外部環境や戦略変更に応じてスピーディーに経営資源の最適配置やグループフォーメーションの見直しを遂行可能な体制への変革

2 2段階での統合再編の実行

- 統合再編に伴う事業および業務の混乱を最小限とするため、2段階(Day1・Day2)の統合再編とする。

ステージ	時期	実施事項
Day1	2016年4月	TIS・インテック間で一部の事業再編を実施
	2016年7月	ITホールディングスがTISを吸収合併し、事業持株会社体制へ移行
Day2	(時期検討中)	「本統合再編により実現させる姿: Day2検討の方向性」(10ページご参照)を踏まえ、ビジネスモデルをベースとする組織・法人体制に再編 ⇒ 具体的な組織・法人体制は引き続き検討 (注)必ずしも「1法人への統合」が前提ではなく、法人体制もビジネスモデルのあり方を踏まえ柔軟に判断する

本統合再編の概要 : 統合再編プロセス



本統合再編の概要 : Day1の具体的内容

時期	実施事項
2016年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>TIS・インテック間で一部事業に関する再編を実施</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ビジネスモデルをベースとする組織・法人体制への再編の第一歩として、お互いのビジネスモデルに近い事業を相互に移管 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><TISからインテックへの移管対象事業(予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国保関連事業 <p><インテックからTISへの移管対象事業(予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電力・ガス関連事業 ● 海外関連事業 </div> ➢ グループシナジー発揮に向けた取り組みをスタートさせるとともに、Day2に向け相互のビジネス・業務に対する理解を深化 ➢ 事業の最適配置に向けた事業再編は、Day1以降も引き続き進めていく予定
2016年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>ITホールディングス・TISの合併による事業持株会社体制への移行</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ITホールディングスを合併存続会社、TISを合併消滅会社とする吸収合併を実施(簡易合併・略式合併) ● <u>「ITホールディングス」から「TIS」への社名変更</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2016年6月24日のITホールディングス定時株主総会での承認を前提として、商号を「TIS株式会社」に変更 ● <u>グループブランドの統合</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 統合再編後の当社グループを示すグループブランドとして「TISインテックグループ」の名称を統一的使用

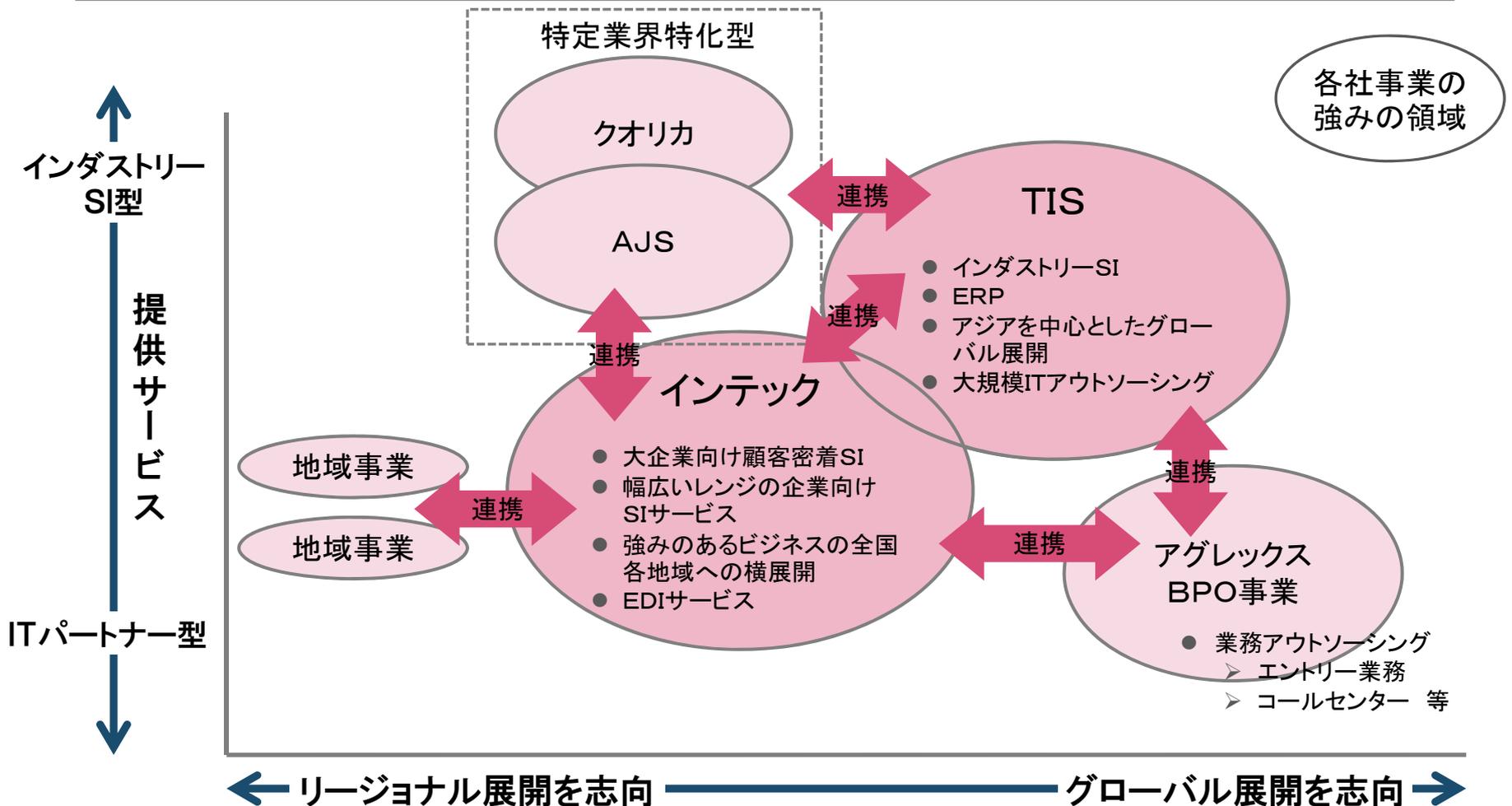
本統合再編の概要 : Day1~Day2までの期間での事業再編

- Day2におけるビジネスモデルをベースとする組織・法人体制に向け、グループ内での事業の最適配置に向けた事業再編をDay1以降も引き続き進めていく。

<p>Day1時</p>	<p>2016年4月に再編実施</p>	<p><TISからインテックへの移管対象事業(予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国保関連事業 <p><インテックからTISへの移管対象事業(予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電力・ガス関連事業 ● 海外関連事業
<p>Day1~Day2 の期間</p>	<p>事業再編の方向で検討 する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 銀行関連事業 ● 地方拠点・地域子会社 ● ITインフラ ● サービスプラットフォーム ● BPO事業

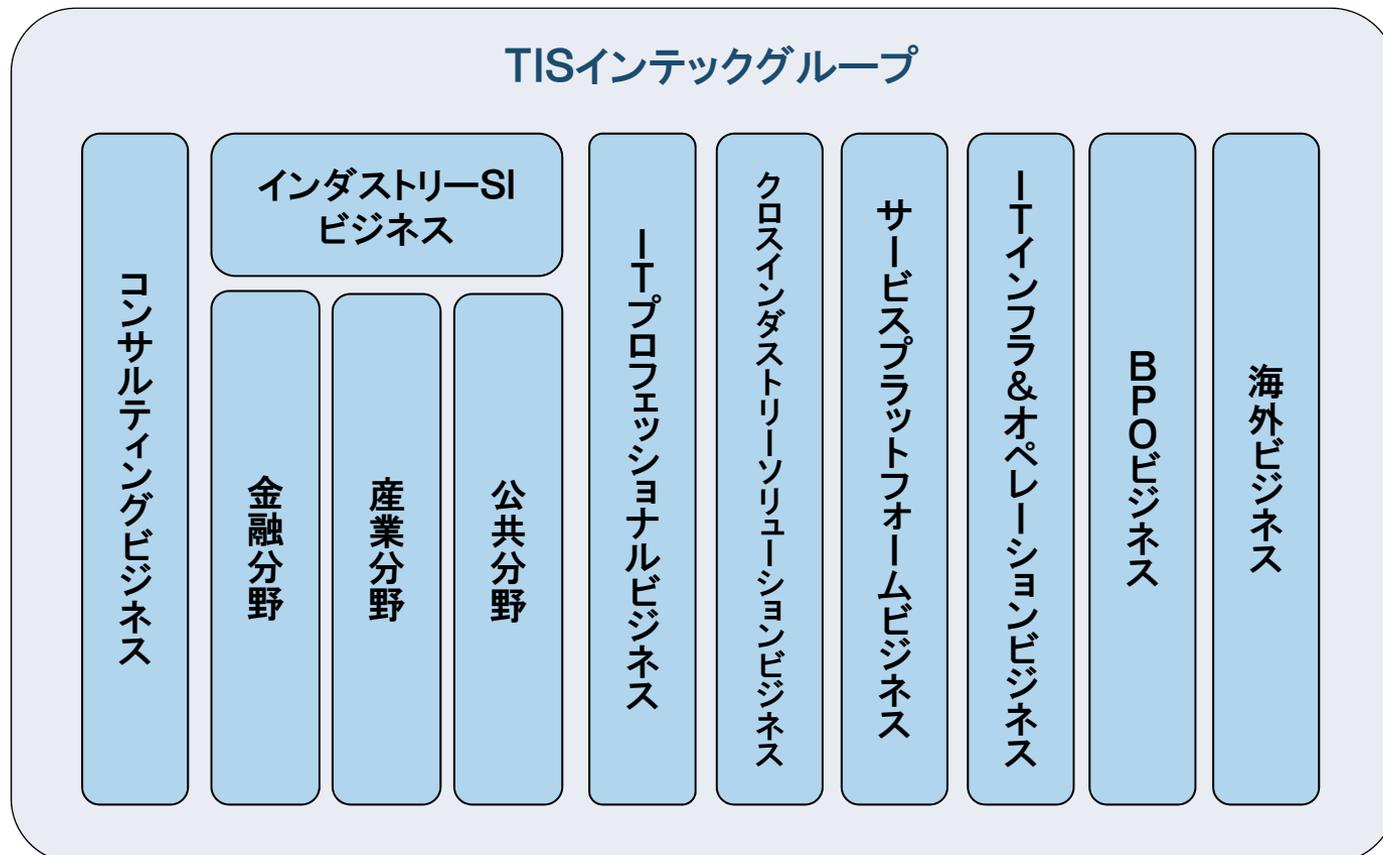
本統合再編により実現させる姿：Day1～Day2での強みの育成

- TIS・インテックを中心に各社の強みを発揮する事業領域は以下のイメージ。
- 各々の注力分野を明確化させ、適宜、事業再編を施しながら強みのある分野を強化していく。



本統合再編により実現させる姿 : Day2検討の方向性

- Day2ではアグレックス、クオリカ、AJS等を含め当社グループ内の各事業をビジネスモデル毎に整理し、最適な組織・法人体制に再編させることで「ポートフォリオ経営」実現のための体制構築を目指す。
- なお、Day2の時期や具体的な組織・法人体制については現在検討中。

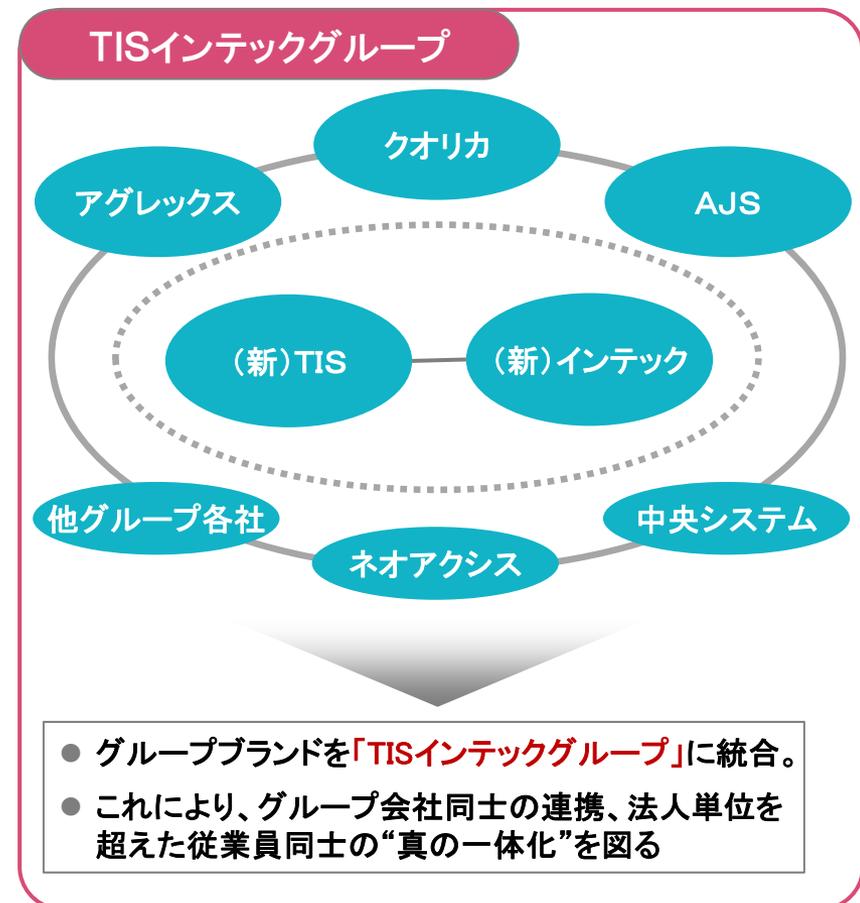
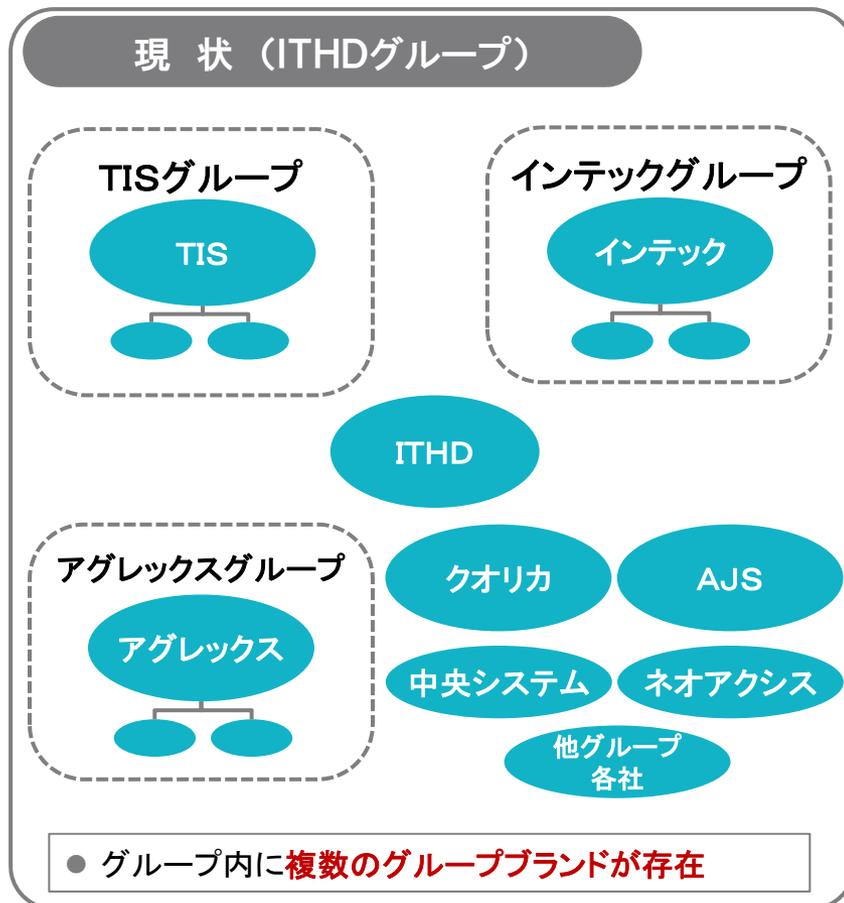


(参考)「本統合再編により実現させる姿:Day2検討の方向性」における各ビジネスモデルの定義

ビジネスモデル	事業コンセプト	提供価値
コンサルティングビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務・業界に対する高い理解・実績と、戦略的思考・プロセスを組み合わせ、超上流領域における顧客支援を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度なビジネス知識に基づいたソリューション
インダストリーSIビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 業界・業務・顧客システムに対する知識を活かし、プライムベンダーとしてITコンサル～システム企画要件定義～開発～保守・運用まで一貫して提供 ● 得意領域のノウハウを凝縮した業種・業界特化型の共通ソリューションも提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業界知識・業務知識が集約されたITシステム ● システムを完成させる統合力 ● 先端的な業界特化ソリューション
ITプロフェッショナルビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● ITプロフェッショナルが、顧客密着型でスピーディーかつフレキシブルなIT業務サービスを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● ITプロフェッショナルの知識に基づいたフレキシブルなソリューション
クロスインダストリーソリューションビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 得意領域のノウハウを凝縮した業種・業界を横断する共通ソリューションを提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 先端的なパッケージソリューションシステム
サービスプラットフォームビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の事業で蓄積された実績やノウハウを活用し、顧客の業界全体に対してN:Nでサービスを提供するプラットフォームを構築・運用する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業界スタンダードとなる業務インフラ機能を提供するサービス
ITインフラ&オペレーションビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客に対して、データセンター、ネットワークの機能・サービス等、IT基盤を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ① ITインフラに関連する設備機能の提供 ② 顧客作業の効率的な代替執行
BPOビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 帳票類の入力/印刷/封緘等をはじめとした事務作業を代行 	
海外ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・ASEANを事業領域とした、専門性を保有する現地パートナーとのM&A・アライアンスによる現地ビジネスの拡大。グローバルBPOの本格展開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業界知識・業務知識に裏打ちされた先進ITのグローバル展開

本統合再編により実現させる姿：グループブランドの統合

- 当社グループには、これまでグループ内グループが存在。これがお互いの融和の障壁に。今回これを廃止し、「TISインテックグループ」として統合を図ることで、グループ会社同士の連携、法人単位を超えた従業員同士の“真の一体化”を促進させる。



今後の日程

当社・TIS・インテック間での統合再編に関する基本合意関連日程

基本合意書承認取締役会(当社)	2015年10月29日
基本合意書承認取締役会(TIS)	2015年10月28日
基本合意書承認取締役会(インテック)	2015年10月28日
基本合意書締結日	2015年10月29日

TIS・インテック間での一部事業再編(会社分割)関連日程

分割契約承認取締役会(TIS)	2016年1月(予定)
分割契約承認取締役会(インテック)	2016年1月(予定)
分割契約締結日	2016年1月(予定)
分割契約の効力発効日	2016年4月1日(予定)

当社・TISの合併関連日程

合併契約承認取締役会(当社)	2015年10月29日
合併契約承認取締役会(TIS)	2015年10月28日
合併契約締結日	2015年10月29日
定款変更(商号)に関する株主総会承認決議	2016年6月24日(予定)
合併契約・商号変更の効力発効日	2016年7月1日(予定)



IT HOLDINGS

Go Beyond